



若竹だよい

【私たちの願い】

①よろこんで与える人間となろう

②いのちを大切にする人間となろう

③こころ静かに考える人間となろう

④使命に生きる人間となろう

⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう



法人の社会貢献事業

①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待

②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

変化

園長 宮脇 景子

子どもたちの生活がより良い環境になるように、各フロアに、テレビを追加し、タブレットでグーグルテレビを見れるように環境を整えました。今まで1台のテレビを奪いあうこともありました。が、突然のプレゼントで子どもたちは大喜びでした。

また低学年の小学生が多くなったため今までは同じ日課で生活をしていましたが、小学生の就寝時間を早め、就寝時には職員が上半身をトントンして寝かしつけるようになり、少しでも安心して就寝できるように整えました。

学校も分校に変化したり、新たな担当が発表されたり、学校との自立支援計画票の作成も始まりました。色々なことが見直され変化しています。今までと違うことも多くそれを不安それともチャレンジとして取らえるかの大分違います。

『山は西からでも東からでも登れる。自分が方向を変えれば、新しい道はいくらでも開ける。』松下幸之助氏（パナソニック創業者）の名言にもあるように子どもも職員も失敗を恐れず色々なことにチャレンジしてもらいたいと強く思っています。

5月4日

そうめんがし



職員が協力して大きな竹を3本使った特大コースを試行錯誤で作りました。子どもたちは、流れてくるそうめんを箸で掴めると、嬉しそうな表情をし、自分たちで採ったタケノコの天ぷらも美味しくいただきました。



終盤になると、恒例のそうめん以外のゼリーやトマトが、物凄い勢いでコロコロと流れてくる様子を見て笑いながらお箸でキャッチしていました。子どもたちも職員も、終始笑顔でした。

5月3日

潮干狩り



潮干狩りに行ってきました。初めて体験することでもたくさんいました。

事前にマテ貝がよく取れるという情報を入

手していたので塩を持って行ってきました。職員が「穴に塩を入れると貝が出て来るよ！出てきたらすぐに引っ張って取ってね」と声をかけると、すぐに砂を掘り、穴を見つけると塩を入



れていました。しかし、浅瀬だったこともあり塩を入れても出てきませんでした。帰る直前で1つだけでしたが、小さなマテ貝を取ることが出来ました。

収穫が少なかったのがっかりしていると思っていたら、楽しかった・また行きたいという声が多く聞かれました。



ボーリングに行ってきました。ボーリングをしたことが無いこどもも2ゲーム目にはコツを掴んできたのかスコアも少しずつ伸びてきていました。ストライクやスペアが出るとみんなで喜んで盛り上がることもありました。



5月14日 リレーマラソン

天気予報では雨天となっており、心配をしていましたが、当日は天候に恵まれ、いく

しまりレーマラソンに参加することができました。会場は多くの人で賑わっており、たくさんの飲食店も出店しておりました。子ども



4名と職員1名で計20kmを走行しました。10kmや6kmを頑張っって走った子もいました。安全に走れるように、準備運動を入念にし、子どもたちと一緒に走りながらコースの下見をしました。

走っていない時は、紙コップに水を入れて走り終えた子に「頑張ったね。」と温かい声をかけながら渡してくれていました。



タスキを次の走者に渡すんだと諦めずに最後まで走っている子どもを、励ましながら職員も一緒に走りました。

「もうすぐで、ゴールだよ」と大きな声で応援している様子は非常に感動的でした。無事ゴールでき全員で達成感を得られることができました。

大会の後に、参加者全員でファミレスで昼食をとりました。満足そうな表情で楽しい会話をしながら一緒に食べました。

5/14 バスケ交流

香川ファイブアローズの兒玉選手が4月に引き続き来園してくれました。

前日に子ども達が作ったケーキを兒玉選手



と一緒に食べました。食べながら子ども達が兒玉選手に、バスケットをはじめた時期、試合に勝った時の気持ちやトレーニング方法の質問をしました。バスケットをしていると、チームメイトの存在が家族のような感覚となり、試合に勝った後などは、成し遂げられる喜びを感じるなどのお話がありました。子どもたちは真剣な表情でお話を聞いていました。

おやつを食べた後は、兒玉選手とバスケットのシュートのうち方を教えてもらい交流を持ちました。黄色のチームカラーのうちわにサインを書いてもらいプレゼントしていただきました。うちわ以外にも筆箱などにサインを書いてもらうなど優しく接してもらい、子どもたちは感激していました。ありがとうございました。また来てくださいね。応援しています。



5月行事

3日	そうめんがし	14日	リレーマラソン
4日	潮干狩り	14日	バスケ交流
6日	ポーリング	21日	図書館
13日	図書館	24日	買物外出

在籍人数

令和5年6月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	0	4
中学生	6	1	7
高校生	3	0	3
一時保護	0	2	2
合計	13	3	16

ご寄付ありがとうございます。

七種 麻紀 様 バスケットボール
ファイブアローズ兒玉選手
サイン入りうちわ

編集後記

GWには、子どもたちに様々な活動を提供することができました。子どもたちと一緒に活動をする中で、子どもたちの新たな一面を発見することもできました。 小田祐大

第440発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
ホームページ <http://4on.or.jp>
Eメール wakatake@4on.or.jp
編集兼発行者 若竹学園 編集委員
発行責任者 宮脇 景子



五色台分校だより

清掃の時間が始まりました

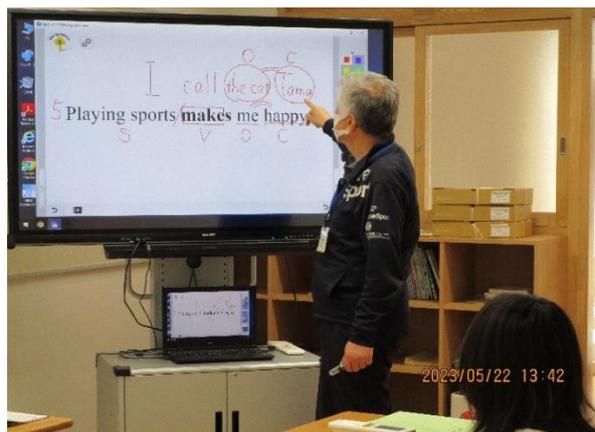
本年度から学校の活動の一つとして、清掃の時間が始まりました。できたばかりの新校舎を、小学生5名、中学生8名と先生方で、ピカピカにしていきます。割当は、次のようになります。

- 小学生
教室と周辺の廊下
- 中学1年生
教室と玄関、廊下
- 中学2年生
教室とトイレ、ホール、階段
- 中学3年生
教室



電子黒板がやってきました

本年度から、本校でも電子黒板が使えるようになりました。子どもたちの授業への集中を高め、内容理解につなげています。



中間テストを実施しました

5月17、18日に、中学校で1学期中間テストが行われました。子どもたちは、1週間前から勉強に励み、テストに臨みました。

1年生は、初めての定期テストに戸惑ったようで、試験監督者に何回も質問をする教科があったようです。

一方、2、3年生は静かに、真剣な眼差しで今年度初めてのテストを受けていました。

